２０２１年度

香川大学入学者選抜について

（予　告）

教育学部
法　学　部
経済学部
医　学　部
創造工学部
農　学　部

平成 31 年 3 月

香　川　大　学

平成３１年３月
香　川　大　学

2021 年度香川大学入学者選抜について（予告）

本学は，2020 年度に実施される 2021 年度入学者選抜から，「学力の３要素」（「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価するものへ見直しを図るため，下記のとおり入学者選抜を実施します。

記

１．入試区分の変更について

・「一般入試」　⇒　『一般選抜』
・「推薦入試」　⇒　『学校推薦型選抜』
・「ＡＯ入試」　⇒　『総合型選抜』
・「社会人入試」⇒　『社会人選抜』
・「私費外国人留学生入試」　⇒　『私費外国人留学生選抜』

２．英語の４技能評価について

一般選抜の大学入学共通テストの外国語受験（英語選択受験）の全志願者に CEFR 対照表に示すレベルに相当する英語力を出願資格として求めます。

レベルは，英語認定試験の成績を利用して確認します。

○Ａ１レベル以上
教育学部，法学部，経済学部，医学部看護学科，医学部臨床心理学科，
創造工学部，農学部

○Ａ２レベル以上
医学部医学科

３．大学入学共通テストの記述式試験問題について

一般選抜の全受験者の入学者選抜に利用します。

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜において，原則として一般選抜と同様とします。

国語（「国語総合」（古文・漢文を除く。））は，段階別評価を利用します。
（※配点等は，今後公表します。）

数学（「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学 A」）は，マーク式問題の得点と合計します。
（※配点等は，今後公表します。）

４．募集区分と区分別募集人員，区分別入学者選抜方法，入学者の受入方針，調査書等の活用方法等を含むその他の事項については，詳しくは，「2021 年度香川大学入学者選抜に係る予告の詳細について」を参照してください。

５．医学部医学科は，2021 年度入学者選抜から一般選抜（後期日程）を廃止します。

2021 年度香川大学入学者選抜に係る予告の詳細について

１．2021 年度学部等の入学者選抜の募集人員 ･････････････････････ 1

２．一般選抜

●2021 年度入学者選抜方法等一覧 ･････････････････････････････････ 3

（１）一般選抜（前期日程・後期日程）

・大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の
実施教科・科目等 ･･･ 5

３．特別選抜

●2021 年度入学者選抜方法等一覧 ･････････････････････････････････ 13

（１）学校推薦型選抜Ⅰ

・2021 年度入学者選抜方法等（詳細） ･････････････････････････････ 15

（２）学校推薦型選抜Ⅱ

・大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等 ･････････ 17

（３）総合型選抜Ⅰ

・2021 年度入学者選抜方法等（詳細） ･････････････････････････････ 19

（４）社会人選抜

・2021 年度入学者選抜方法等（詳細） ･････････････････････････････ 21

（５）私費外国人留学生選抜

・2021 年度入学者選抜方法等（詳細） ･････････････････････････････ 23

４．入学者の受入方針 ･･･ 25

1．2021年度学部等の入学者選抜の募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員							
				一般選抜		特別選抜					
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜		総合型選抜Ⅰ	社会人選抜	私費外国人留学生選抜
						大学入学共通テストを課さない（Ⅰ）	大学入学共通テストを課する（Ⅱ）			
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	人 160	人 8	人 18	人 (ｱ) 2	人	人	人	人
		小学校教育コース		55		(ｲ)小学校 27 (ｳ)特別支援 5				
		中学校教育コース		A系 14 B系 10 C系 4	7		※1 ※1 ※1 ※1 ※1	(ｴ)技術 2 (ｵ)家庭 2 (ｶ)音楽 2 (ｷ)美術 2 (ｸ)保健体育 2		
	計		160	91	25	34		10		
法学部	法学科	昼間コース	150	75	35	10	30			若干人
		夜間主コース	10						10	
	計		160	75	35	10	30		10	
経済学部	経済学科	昼間コース	240	110	35	50	ⅡA 40 ⅡB 5			若干人
		夜間主コース	10						10	
	計		250	110	35	50	45		10	
医学部	医学科		※2 95	※2 70			※2 25			若干人
	看護学科		60	35				25		
	臨床心理学科		20	20						
	計		※2 175	※2 125			※2 25	25		
創造工学部	創造工学科	造形・ﾒﾃﾞｨｱﾃﾞｻﾞｲﾝコース	330	184 [Aﾀｲﾌﾟ 167 Bﾀｲﾌﾟ 17]	49		46	51		若干人
		建築・都市環境コース								
		防災・危機管理コース								
		情報ｼｽﾃﾑ・ｾｷｭﾘﾃｨコース								
		情報通信コース								
		機械システムコース								
		先端ﾏﾃﾘｱﾙ科学コース								
	計		330	184	49		46	51		
農学部	応用生物科学科		150	105			20	25		若干人
	計		150	105			20	25		
合計			※2 1,225	※2 690	144	94	※2 166	111	20	
						※2 260				

※1 教育学部学校教育教員養成課程の中学校教育コース総合型選抜Ⅰ内の(ｴ)～(ｸ)の区分における人数は，目安です。

※2 2021年度医学部医学科の入学定員が109人，医学部医学科一般選抜前期日程の募集人員が79人（地域医療推進枠9人を含む。），医学部医学科学校推薦型選抜の募集人員が30人（県民医療推進枠5人を含む。）となるよう調整中です。

2．一般選抜
●2021年度入学者選抜方法等一覧

学部（学科・課程・コース）名・学力検査の区分 ＼ 選抜方法等					大学入学共通テストを課する	英語認定試験（出願資格・CEFR）	個別学力検査等							
							個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜		
								実技検査を課する	面接を課する	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として，調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い，その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	
													定員に対する倍率	その他
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース 小学校教育コース	前期日程	実技検査選択者以外	○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×
				実技検査選択者	○	A1	×	○	×	×	×	×	×	×
		中学校教育コース		A系 B系	○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×
				C系	○	A1	×	○	×	×	×	×	×	×
	学校教育教員養成課程（幼児教育コースを除く）		後期日程		○	A1	×	×	×	○	×	×	×	×
法学部	（昼間コース）法学科		前期日程		○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×
			後期日程		○	A1	×	×	×	○	×	×	×	×
経済学部	（昼間コース）経済学科		前期日程		○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×
			後期日程		○	A1	×	×	×	○	×	×	×	×
医学部	医学科		前期日程		○	A2	○	×	○	×	×	○	約5倍	×
	看護学科		前期日程		○	A1	×	×	○	×	×	×	×	×
	臨床心理学科		前期日程		○	A1	○	×	○	×	×	○	約6倍	×
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース 建築・都市環境コース 防災・危機管理コース 情報システム・セキュリティコース 情報通信コース 機械システムコース 先端マテリアル科学コース	前期日程	Aタイプ Bタイプ	○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×
			後期日程		○	A1	×	×	×	○	×	×	×	×
農学部	応用生物科学科		前期日程		○	A1	○	×	×	×	×	×	×	×

※入学者の選抜は、大学入学共通テストと英語認定試験、本学が実施する個別学力検査等の成績等及び調査書の内容等を総合して行います。

備 考

【教育学部】

１．学校教育教員養成課程　中学校教育コース　前期日程では，Ａ系，Ｂ系，Ｃ系の３系ごとに試験を実施します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表すもので，Ａ系が国語又は外国語，Ｂ系が数学又は理科，Ｃ系が実技検査（音楽，美術，保健体育からいずれか１つ選択）です。

２．学校教育教員養成課程は，下記のとおり志望順位をつけて第２志望まで志願することができます。

前 期 日 程	①　幼児教育コースと小学校教育コース ②　小学校教育コース（国語又は外国語受験者）と中学校教育コースＡ系 ③　小学校教育コース（数学又は理科受験者）と中学校教育コースＢ系 ④　小学校教育コース（実技検査受験者）と中学校教育コースＣ系
後 期 日 程	小学校教育コースと中学校教育コース

３．学校教育教員養成課程には，次のコース・領域があります。

課　　程	コ ー ス	領　　域
学校教育教員養成課程	幼 児 教 育 コ ー ス	
	小 学 校 教 育 コ ー ス	教育領域，心理領域，生活・総合領域， 特別支援教育領域 国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域，保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域
	中 学 校 教 育 コ ー ス	国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域，保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域

４．領域への所属は２年次からです。

個別学力検査等で選択した受験教科・科目及び系は，２年次からの領域の選択とは関係しません。

【医 学 部】

医学科前期日程の地域医療推進枠にあっては，前頁に加え香川県による面接があります。

【創造工学部】

創造工学科前期日程では，ＡタイプとＢタイプの２タイプの試験があります。Ａタイプは全コース（７コース）へ志願することが可能で，志望順位をつけて第７志望まで志願できます。Ｂタイプは造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかへ志願することができます。

創造工学科後期日程では，志望順位をつけて第７志望まで志願できます。

【そ の 他】

入学定員に欠員が生じた場合には,追加合格及び欠員補充第２次募集を行うことがあります。

２．（１）一般選抜（前期日程・後期日程）
大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等

【教育学部】

学科等名		学力検査等の区分		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
				教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
学校教育教員養成課程	幼児教育コース・小学校教育コース	前期日程		国	『国語』	必須	国 外 数 理 実技検査	『国語』 『英語』 (『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』, 『地学基・地学』 から1科目選択) (「音楽」,「美術」,「保健体育」から1つ選択) 〔1教科1科目〕	
				地歴 公民 理	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」) から1又は2科目 (「現社」,「倫」,「政経」, 『倫・政経』) から1科目 (1)(「物基」,「化基」,「生基」, 「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」, 「地学基」) から2科目 並びに (「物」,「化」,「生」, 「地学」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 (1)～(4)のいずれか から1又は2科目	から3科目 (理科で(1)又は(3)を選択する場合は4科目)		〔1教科1科目〕	
	小学校教育コース	後期日程					その他	小論文	
	中学校教育コース	前期日程	A系				国 外	『国語』 『英語』 〔1教科1科目〕	
			B系	数	『数Ⅰ・数A』 (『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	必須 から1科目	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』, 『地学基・地学』 から1科目選択) 〔1教科1科目〕	
				外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			C系		〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕		実技検査	(「音楽」,「美術」,「保健体育」から1つ選択)	
		後期日程					その他	小論文	

(注【学科等名】，【学力検査等の区分】欄
学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は，Ａ，Ｂ，Ｃの３系別に募集します。
系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2　地歴及び公民については，「世界史Ａ」「世界史Ｂ」「日本史Ａ」「日本史Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から１又は２科目，「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理，政治・経済』から１科目までの成績を用います。

3　地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。

●地歴，公民で指定した科目から１科目選択する場合は，理科は(3)又は(4)を選択してください。なお，理科で(3)を選択する場合には，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴，公民で指定した科目から２科目選択する場合は，理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。

●地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(3)により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．地歴，公民の第１解答科目　・・・・　１科目
イ．地歴，公民の第２解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目(２科目の合計)
エ．理科の基礎を付さない科目
イ～エのうち高得点順に２科目（ウを用いる場合は３科目）
３科目（ウを用いる場合は４科目）

ただし，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，ア，イの２科目の成績と，ウ，エのうち高い方の成績を用います。
また，地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(4)により２科目受験している場合には，第１解答科目の２科目及び第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

5　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1　学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は，Ａ系が国語又は外国語，Ｂ系が数学又は理科，Ｃ系が実技検査（「音楽」，「美術」，「保健体育」からいずれか１つ選択）です。

2　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

3　『国語』　「国語総合」，「現代文Ｂ」，「古典Ｂ」の３科目を合わせた範囲から出題します。

4　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の４科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の５科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ａ」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数Ｂ」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

5　外国語　『英語』　「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

6　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は，「地学基礎」と「地学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

7　小論文　広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【法学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英語』 から1教科 〔1教科1科目〕	
		地歴 公民	(「世B」,「日B」,「地理B」) から1又は2科目 (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) から1科目 から2科目			
		数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』) から1科目 (「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』) から1科目			
		理	(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目又は (「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目			
	後期日程	外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕	その他	小論文	

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2 『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

3 理科について，指定した科目から基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を１科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．基礎を付した科目（２科目の合計）
イ．基礎を付さない科目
} ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は２科目）

また，理科について，指定した科目から基礎を付さない科目を２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

4 外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・１科目）

2 数学 「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」の４科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3 外国語 『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

4 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【経済学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	『国語』	必須	外	『英語』 〔1教科1科目〕	
		地歴 公民 理	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) (1)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 並びに (「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目	から2科目 (理科で(1)又は(3)を選択する場合は3科目)			
	後期日程	数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』)	から1科目	その他	小論文	
			(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			〔4教科6科目又は5教科6科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は4教科7科目又は5教科7科目)〕				

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2 地歴公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

3 地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。

●地歴，公民から１科目並びに理科について（３）により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の１科目
イ．理科の基礎を付した科目（2科目の合計）
ウ．理科の基礎を付さない科目
} ア～ウのうち高得点順に２科目（イを用いる場合は３科目）
ただし，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，アの成績と，イ，ウのうち高い方の成績を用います。

●地歴，公民から１科目並びに理科について（４）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の１科目
イ．理科の第２解答科目
} ア，イのうち高得点のものを１科目
ウ．理科の第１解答科目 ・・・１科目
} ２科目

●地歴，公民から２科目並びに理科について（１）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の第１解答科目 ・・・１科目
イ．地歴，公民の第２解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目（２科目の合計）
} イ，ウのうち高得点のものを１科目（ウを用いる場合は２科目）
} ２科目

●地歴、公民から2科目並びに理科について（２）により1科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴、公民の第1解答科目 ・・・１科目
イ．地歴、公民の第2解答科目
ウ．理科の基礎を付さない科目
} イ，ウのうち高得点のものを１科目
} ２科目

●地歴、公民から２科目並びに理科について（３）により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の２科目の合計
イ．地歴，公民の第１解答科目と理科の基礎を付した科目（２科目の合計）の合計
ウ．地歴，公民の第１解答科目と理科の基礎を付さない科目の合計
エ．理科の３科目の合計
} ア～エの各合計点のうち最も高いもの

●地歴，公民から２科目並びに理科について（４）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の２科目の合計
イ．理科の２科目の合計
ウ．地歴，公民の第１解答科目と理科の第１解答科目の合計
} ア～ウの各合計点のうち最も高いもの

4 外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。

2 外国語 『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

3 小論文 広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【医学部】（医学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			
		教科	科目名等		教科等	科目名等		2段階選抜
医学科	前期日程	国	『国語』	必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』	必須	約５倍
		地歴 公民	(「世B」,「日B」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』)	から1科目	理	(『物基・物』,『化基・化』, 『生基・生』)	から2科目	
		数	『数Ⅰ・数A』 (『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	必須 から1科目	外	『英語』	必須 〔3教科4科目〕	
		理	(「物」,「化」,「生」)	から2科目	その他	面接		
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目 〔5教科7科目〕				

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2　地歴及び公民について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。指定した科目を第１解答科目として受験していない場合は，個別学力検査等を受験することができませんので，注意してください。

3　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

4　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

2　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」の５科目を合わせた範囲から出題します。
　「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
　ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
　『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
　『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4　外国語『英語』「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

【医学部】（看護学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	その他	面接	
		地歴 公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』)	から1科目			
		理	(1)(「物基」,「化基」,「生基」)から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」) から1科目	(1),(2)のいずれか			
		数	(『数Ⅰ・数A』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			〔5教科5科目（理科で(1)を選択する場合は5教科6科目）〕				

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2　地歴及び公民について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。

3　理科について基礎を付さない科目を２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。指定した科目を第１解答科目として受験していない場合は，(2) を選択することができませんので，注意してください。
　また，指定した科目から基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には，次の科目の成績を用います。
　ア．基礎を付した科目（２科目の合計）
　イ．基礎を付さない科目
　} ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は２科目）

4　数学について指定した科目から２科目受験している場合は，高得点の科目の成績を用います。

5　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

6　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【医学部】（臨床心理学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
臨床心理学科	前期日程	国	『国語』	必須	国数	『国語』 (『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) から1教科	約６倍
		地歴 公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」)から1又は2科目 (「現社」,「倫」,「政経」, 『倫・政経』) から1科目	から1又は2科目	外	『英語』 必須 〔2教科2科目〕	
		理	(1)(「物基」,「化基」,「生基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」) から2科目並びに (「物」,「化」,「生」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」) から2科目	(1)～(4)のいずれか から3科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は4科目)	その他	面接	
		数	『数Ⅰ・数A』 (「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	必須 から1科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕				

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2　地歴及び公民については，「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から１又は２科目，「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理，政治・経済』から１科目までの成績を用います。

3　地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。

●地歴，公民で指定した科目から１科目選択する場合は，理科は(3)又は(4)を選択してください。なお，理科で(3)を選択する場合には，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴，公民で指定した科目から２科目選択する場合は，理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。

●地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(3)により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．地歴，公民の第１解答科目　・・・・　１科目
イ．地歴，公民の第２解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目（２科目の合計）
エ．理科の基礎を付さない科目
　イ～エのうち高得点順に２科目（ウを用いる場合は３科目）
　３科目（ウを用いる場合は４科目）

　ただし，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，ア，イの２科目の成績と，ウ，エのうち高い方の成績を用います。
　また，地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(4)により２科目受験している場合には，第１解答科目の２科目及び第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

5　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1　『国語』　「国語総合」，「現代文B」，「古典B」の３科目を合わせた範囲から出題します。

2　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」の４科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」の５科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
　「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
　ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3　外国語『英語』「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

【創造工学部】

学科等名		学力検査等の区分		大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	2段階選抜
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	国	『国語』 必須	数理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』(『物基・物』,『化基・化』 から1科目) から1科目 〔1教科1科目〕	
				地歴公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」)(「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) から1科目			
				数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』) から1科目			
					(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『情報』) から1科目			
				理	「物」 必須			
					(「化」,「生」,「地学」) から1科目			
				外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			
	造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース		Bタイプ	国	『国語』 必須	数理	〈造形・メディアデザインコース〉『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』(『物基・物』,『化基・化』 から1科目) から1科目	
				地歴公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」)(「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) から1科目			
				数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』) から1科目			
					(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』) から1科目	その他	総合問題 〔1教科1科目〕	
				理	(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目又は(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目			
				外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目 〔5教科6科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科7科目〕			
						数理	〈防災・危機管理コース〉『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』(『物基・物』,『化基・化』 『地学基・地学』 から1科目) から1科目 〔1教科1科目〕	
	全コース	後期日程		国	『国語』 必須	その他	小論文	
				地歴公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」)(「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) から1科目			
				数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』) から1科目			
					(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『情報』) から1科目			
				理	(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目			
				外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ａ』・・・１科目）

2 地歴及び公民について２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

3 理科について，指定した科目から基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を１科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．基礎を付した科目（２科目の合計）
イ．基礎を付さない科目
} アまたはイのうち高得点の科目（アを用いる場合は２科目）

また，Ｂタイプの試験においては，理科で指定した科目から基礎を付さない科目を２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

4 外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

2 数学　Aタイプの試験においては，「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の５科目を合わせた範囲から出題します。
Bタイプの試験においては，「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の４科目を合わせた範囲から出題します。
なお，いずれのタイプの試験においても，「数Ａ」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数Ｂ」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3 理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は，「地学基礎」と「地学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4 総合問題　総合問題は，本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力，創造的態度及び表現力等を評価します。
素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

5 小論文　小論文は，本学部学生に求められる素質や能力としての読解力，論理的思考力及び表現力等を評価します。
特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【農学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
応用生物科学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』から1科目) から1科目 〔1教科1科目〕	
		地歴 公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』) から1科目			
		数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』) から1科目 (「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』) から1科目			
		理	(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』）・・・１科目）

2　地歴及び公民について２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

3　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

4　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
　なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

2　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」の４科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」の５科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
　「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
　ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
　『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
　『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

3．特別選抜

●2021年度入学者選抜方法等一覧

学部（学科・課程・コース）名 ＼ 選抜方法等			学校推薦型選抜の区分	大学入学共通テストを課する（ただし英語認定試験は免除する）	大学入学共通テストと英語認定試験を免除する	個別学力検査等：実技検査を課する	個別学力検査等：面接を課する	個別学力検査等：小論文を課する	個別学力検査等：外国語におけるリスニングテストを課する	個別学力検査等：その他	総合型選抜Ⅰ	社会人選抜	私費外国人留学生選抜
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	学校推薦型選抜Ⅰ (ｱ)幼児教育に関心をもつ者	×	○	×	○	○	×	口頭試問	×	×	×
		小学校教育コース	(ｲ)小学校教育に関心をもつ者	×	○	×	○	○	×	×			
			(ｳ)特別支援教育に関心をもつ者	×	○	×	○	○	×	×			
			(ｴ)技術教育に関心をもつ者								○		
			(ｵ)家庭科教育に関心をもつ者										
			(ｶ)音楽教育に関心をもつ者										
			(ｷ)美術教育に関心をもつ者										
			(ｸ)保健体育教育に関心をもつ者										
法学部	法学科	昼間コース	学校推薦型選抜Ⅰ	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○
			学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	×	×	×	×			
		夜間主コース									×	○	×
経済学部	経済学科	昼間コース	学校推薦型選抜Ⅰ	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○
			学校推薦型選抜ⅡA・学校推薦型選抜ⅡB	○	×	×	×	×	×	×			
		夜間主コース									×	○	×
医学部	医学科		学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○
	看護学科										○	×	×
	臨床心理学科										×	×	×
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース 建築・都市環境コース 防災・危機管理コース 情報システム・セキュリティコース 情報通信コース 機械システムコース 先端マテリアル科学コース	学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○
農学部	応用生物科学科		学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○

※私費外国人留学生選抜を除く入学者の選抜は、調査書及び志願者本人が記載する資料等を総合的に評価し選抜します。

備 考

【経済学部】

経済学部（昼間コース）の学校推薦型選抜の区分は，次のとおりです。

学校推薦型選抜Ⅰ	高等学校のすべての学科の卒業見込者又は高等専門学校の第３学年修了見込者を対象とする学校推薦型選抜
学校推薦型選抜ⅡＡ	高等学校の普通科又は理数科，文理科，英語科など本学が普通科に準ずると認める学科の卒業見込者を対象とする学校推薦型選抜
学校推薦型選抜ⅡＢ	高等学校の農業，水産，工業，商業，家庭，厚生，商船，美術，音楽などに関する専門教育を主とする学科（普通科又は本学が普通科に準ずると認める学科を除く。）の卒業見込者又は高等専門学校の第３学年修了見込者を対象とする学校推薦型選抜

（注） 高等学校には中等教育学校を含む。

【医 学 部】

医学科学校推薦型選抜の県民医療推進枠にあっては，前頁に加え香川県による面接があります。

３．（１）学校推薦型選抜Ⅰ
2021年度入学者選抜方法等（詳細）

【教 育 学 部】

小論文，面接及び口頭試問の総合点により選抜します。

面接では，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動報告を含め，総合的に評価します。

（注）本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔１〕小論文

小論文は，大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。なお，評価に際しては，読解力や表現力などの基礎的能力に重点をおきながら総合的に評価します。

〔２〕面接・調査書等

面接は，大学生としての資質，創造的な探求心や勉学意欲，人間性，そして，広く教育界での活躍をめざす者としての適性などの観点から行います。評価は，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動報告を含め総合的に行います。

〔３〕口頭試問

区分(ｱ)「幼児教育に関心をもつ者」に志願する者には，大学が準備した素材を用いて特定の年齢の乳幼児に対する表現力を問う課題（試験当日に指定します。）を含んだ口頭試問を個別に行い，保育実践及び乳幼児発達への関心・理解を問います。口頭試問の前には，一定の準備時間を設けます。なお，持参した資料・メモ等は使用できません。

【法　学　部】

小論文及び面接(調査書，志望理由書の評価も含みます。)の総合点により選抜します。

ただし，小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔１〕目的

香川大学法学部は，法律・政治の分野で実社会に貢献できる人材を送り出すため，少人数教育を重視し，ゼミナール形式の授業を４年間一貫して実施しています。そこで，本学部を志望する学生には，活発なディスカッションを通して，現代社会に対する鋭い問題意識を自ら育成し，自己の潜在的な能力を伸ばしていくことが求められます。従来型のペーパーテストでは十分に評価できないそうした資質を持った学生を，グループ・ディスカッション方式を導入することにより的確に把握することが，この学校推薦型選抜を実施する目的です。

〔２〕小論文

設問に対する1,000字程度の論述を行います。問題は，広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。評価の観点は，受験者の論理的思考力，文章表現力，説得力などです。

〔３〕面　接

面接は，グループ・ディスカッションを評価する方式で行います。グループ・ディスカッションは，ある問題の是非をめぐって議論を戦わせるディベート型ではなく，提示されたテーマについて問題そのものの理解と解決の方策を議論する問題解決型のものです。ディスカッションのテーマは，現代の社会に関するものです。

受験者は，テーマについて40分～60分程度のディスカッションを行います。その際，論理的思考力，説得力，他者の意見を理解し整理する能力，議論を積極的に発展させる能力などが多面的に評価されます。

受験者には，本年度のディスカッションのテーマが事前に送付されます。

【経 済 学 部】

小論文，面接及び調査書（評定平均値は出願要件であり，特記事項のみを評価します。）の総合点により選抜します。

ただし，小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔１〕小論文

小論文の試験問題は，素材となる資料を提示し，その資料について受験者の論述を求めるという形式を取ります。評価の観点は，資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。素材は，経済，社会等に関する分野から選ばれます。

〔２〕面　接

個人面接とし，所要時間は10分程度とします。志望理由書・推薦書に基づいて質問し，的確な応答をしているか，発言に説得力があり分かり易いか，社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

〔３〕調査書の特記事項

調査書の特記事項とは，「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で，特に評価に値すると認められるものをいいます。文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動，英語検定，簿記検定，漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお，文化活動及びスポーツ活動については，主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また，検定試験については，主催団体名を明記してください。評価にあたっては，最もよい一項目のみを対象とし，複数の項目を加算する方式は採りません。

なお，上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

３．（２）学校推薦型選抜Ⅱ
大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等

学部・学科等名			大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
法学部	（昼間コース）法学科		国	『国語』	必須		個別学力検査は課さない	
			数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）から1科目 （「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）から1科目	2科目			
			外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）から1科目	から1教科			
				［2教科3科目（数学の場合）又は2教科2科目（外国語の場合）］				
経済学部（学校推薦型選抜ⅡA・学校推薦型選抜ⅡB）	（昼間コース）経済学科		国	『国語』	必須		個別学力検査は課さない	
			数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）	から1科目			
				（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）	から1科目			
			外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）	から1科目			
				［3教科4科目］				
医学部	医学科		国	『国語』	必須	その他	小論文，面接を課す	
			地歴 公民	（「世B」,「日B」,「地理B」） （「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）	から1科目			
			数	『数Ⅰ・数A』	必須			
				『数Ⅱ・数B』	必須			
			理	（「物」,「化」,「生」）	から2科目			
			外	『英』	必須			
				［5教科7科目］				
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース 建築・都市環境コース 防災・危機管理コース 情報システム・セキュリティコース 情報通信コース 機械システムコース 先端マテリアル科学コース	数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）	から1科目		個別学力検査は課さない	
				（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『情報』）	から1科目			
			理	（「物」,「化」,「生」,「地学」）	から1科目			
			外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）	から1科目			
				［3教科4科目］				
農学部	応用生物科学科		数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）	から1科目		個別学力検査は課さない	
				（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）	から1科目			
			理	（「物」,「化」,「生」,「地学」）	から2科目			
			外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）	から1科目			
				［3教科5科目］				

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

《共　通》

『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

《法学部》

1　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

2　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

3　数学，外国語の２教科とも受験している場合には，高得点の教科の成績を用います。

《経済学部》

1　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

《医学部》

1　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

《創造工学部》

1　理科について，基礎を付さない科目から２科目を受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

2　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

《農学部》

1　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

2　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

３．（３）総合型選抜Ⅰ
2021年度入学者選抜方法等（詳細）

【教育学部】

募集人員	10人
選抜方法等	【第１次選抜】専門領域ごとの方法で書類選考により選抜します。 【第２次選抜】グループ・ディスカッション（リフレクションレポートを含む。），面接・調査書，口頭試問もしくは実技試験の結果を総合的に判断して選抜します。

【医学部(看護学科)】

募集人員	25人
選抜方法等	【第１次選抜】インターネット出願システムの入力内容と提出書類を総合的に判断して選抜します。 【第２次選抜】小論文と面接の結果を総合的に判断して選抜します。

【創造工学部】

募集人員	51人 ※高等学校（中等教育学校を含む。）の工業，商業，情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く。）を履修した者の優先枠を各コースに設け，専門教育を主とする教育課程履修者１名以上を合格者とします。ただし，その受験者が合格基準に達していない場合は，この限りではありません。 造形・メディアデザインコース 10人 建築・都市環境コース 12人 防災・危機管理コース 5人 情報システム・セキュリティコース 6人 情報通信コース 6人 機械システムコース 3人 先端マテリアル科学コース 9人
選抜方法等	【第１次選抜】コースごとの方法で，書類選考により選抜を行います。 【第２次選抜】第１次選抜合格者に対し，コースごとに課した選抜方法※により総合的に評価し，選抜を行います。

※コースごとに課した選抜方法

学部	学科	コース	個別学力検査等		
			口頭試問またはプレゼンテーション	小論文	面接
創造工学部	創造工学科	造形･メディアデザイン	○		○
		建築･都市環境	○		○
		防災･危機管理	○		○
		情報システム･セキュリティ	○		○
		情報通信	○		○
		機械システム		○	○
		先端マテリアル科学	○		○

【農学部】

募集人員	25人 ※高等学校（中等教育学校を含む。）の専門教育を主とする学科（本学が普通科と認める学科を除く。）及び総合学科を履修した者の優先枠を設け，これらの教育課程履修者２名以上を合格者とします。ただし，その受験者が合格基準に達していない場合は，この限りではありません。
選抜方法等	【第１次選抜】書類選考により選抜します。 【第２次選抜】授業理解力テスト（講義を受けての記述式テスト）と面接を行います。その結果を総合評価し，最終合格者を選抜します。

３．（４）社会人選抜
2021年度入学者選抜方法等（詳細）

【法学部法学科（夜間主コース）】

募　集　人　員	10人
選　抜　方　法　等	小論文及び面接（志望理由書の評価も含みます。）の総合点により選抜します。

【経済学部経済学科（夜間主コース）】

募　集　人　員	10人
選　抜　方　法　等	小論文及び面接の総合点により選抜します。 ただし，出願資格（１）～（４）に該当する者は,志望理由書の審査による小論文の免除を申請することができます。審査の結果，小論文が免除となる場合は，文書をもって通知します。 ※出願資格（抜粋） （１）　高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で，2021年３月31日までに22歳に達し，社会人としての経験を２年以上有する者 （２）　高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で，現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者 （３）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者で，2021年３月31日までに22歳に達し，社会人としての経験を２年以上有する者 （４）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者で，現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者

３．（５）私費外国人留学生選抜
2021年度入学者選抜方法等（詳細）

実施学部等名	法学部（昼間コース），経済学部（昼間コース） 医学部（医学科），創造工学部，農学部
募集人員	上記学部等ごとにそれぞれ若干人
選抜方法等	【法学部（昼間コース）】 小論文（日本語），面接及び提出書類を総合して選抜します。 【経済学部（昼間コース），創造工学部，農学部】 面接及び提出された書類を審査し，その結果を総合して選抜します。 【医学部（医学科）】 学力検査，面接及び提出書類を総合して選抜します。

４．入学者の受入方針

香川大学は，「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部，学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

【教 育 学 部】

１．教育理念

香川大学教育学部は，学校教員をはじめ教育者を養成し，広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には，急激な社会の変化の中で，教科に関する新しい学力をどのようにつけるか，子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど，人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化，情報化社会の進展，切実さを増す環境問題，多文化社会における共生の在り方などの問題は，生涯にわたる教育の必要性と新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように，人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に，教育に関する総合的な教育研究を行い，教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

２．教育目標

教育学部では，その教育理念に基づき，豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに，社会の変化やニーズを適切に踏まえ，学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる，専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

３．教育内容

教育学部では，学部の教育目標に沿った４年間一貫教育を行っています。

１年次は各コースに所属し，全学共通科目と学部共通科目を中心に学び，教職に関する基礎とともに，自分の興味や関心を探求し視野を広げます。２年次以降は，より実践的で専門的な授業科目を履修していきます。（小学校・中学校コースでは，２年進級時に各教科領域等を決定します。）特に３年次以降に配当された教育実習を中心として，教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で，それぞれの課題を発見し，解決する能力の育成を目指しています。４年次の卒業研究では，それぞれの具体的な課題に取り組み，専門分野の総合的学力を高めます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊学校教育において，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち，経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど，子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者として他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

○一般選抜

一般選抜では，高等学校での教科面における学習の達成度をみるため，大学入学共通テスト５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。

＊前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは，個別学力検査（国語，英語，数学，理科）又は実技検査（音楽，美術，保健体育）から１科目選択し，得意な教科に関する達成度（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校コースについては，受験教科によって A 系（国語又は英語），B 系（数学又は理科），C 系（実技：音楽，美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。

＊後期日程

いずれのコースとも小論文が課せられ，大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力，思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。

〇特別選抜

＊大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅰ）

大学入学共通テストは課さず，小論文及び面接を課すとともに，志望する区分によっては口頭試問を行います。小論文は大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力，思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。面接・調査書等においては大学生としての資質，創造的な探求心や勉学意欲，人間性（倫理観・社会的責任など），学校教員をめざす者としての適性（主体性・多様性・協働性など）を評価します。口頭試問においては基礎的な知識や技能を評価します。

＊総合型選抜Ⅰ

第１次選抜では，出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，知識・技能を評価します。第２次選抜では，第１次選抜の合格者に対して，グループ・ディスカッション（リフレクションレポートを含む）及び面接・調査書評価を全員に課します。さらに口頭試問もしくは実技試験のいずれかを課します。グループ・ディスカッションは，課題に対する発想力，想像力，論理的思考力，教職に対する意欲等を評価します。面接・調査書等評価は，関心・意欲・態度，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，知識・技能，倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。口頭試問もしくは実技試験においては，各教科の基礎的な知識や技能を評価します。これらを総合的に判断し，最終の合格者を決定します。

【法 学 部】

１．教育理念

香川大学法学部は四国で唯一の国立大学法学部です。高等裁判所，高等検察庁といった重要な官公庁や企業が立地する地域の特色を生かして，四国地方における法律学と政策科学の教育研究の中枢機能を果たすと同時に，全国的に高い教育研究を提供することを目指しています。

香川大学法学部は，自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに，法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

夜間主コースにおいては，社会人としての幅広い判断力や，専門実務能力である政策遂行能力を育成します。

２．教育目標

香川大学法学部では，その教育理念に基づき，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民，法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち，世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し，その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

３．教育内容

このような教育目的を達成するために，基礎から比較的高度な内容への段階的履修，ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育，希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース，公共政策コース及び企業法務コースの３コース制による教育を実施しています。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ，筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び，議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち，書物や新聞を通して，広く社会で生じていることに対する問題意識を深め，自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し，自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学を希望する人は，入学後の教育に対応できる素質を養うため，高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは，大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することから，英語及び国語の基礎的な能力を身につけておく必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから，地理・歴史あるいは公民など社会科の科目もしっかり学んでください。さらに法学・政治学に必要な論理的思考力は数学・理科の学習によって培われます。万遍なく学んでください。

５．選抜方法の趣旨

〇一般選抜

＊前期日程

大学入学共通テストでは，基礎的な学力をみるために５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。個別学力検査では，論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる英語を課します。

＊後期日程

大学入学共通テストでは，基礎的な学力をみるために５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。個別学力検査では，高い論理的思考力と文章によるコミュニケーション能力を持った学生を選抜するため小論文試験を課します。

〇特別選抜

＊大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅰ）

論理的思考力とコミュニケーション能力をみるため小論文と面接を行います。特に，面接はグループ・ディスカッション方式で，現代社会に対する鋭い問題意識，創造的な思考力，的確な表現力と説得力を重視します。

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）

基礎学力に加えて現代社会に対する関心をみるため，調査書の審査では地歴・公民の成績を重視します。大学入学共通テストの教科は，国語に加え，論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる外国語のいずれかによる受験を求めます。

＊夜間主コース（社会人選抜）

面接と小論文を通じて，「入学者に求める学力・能力・資質等」を判断し，面接ではさらに法学部の志望動機や働きながら勉学する意欲を確認します。

＊私費外国人留学生選抜

面接と小論文（日本語）により，法学部で勉学するために必要な日本語のコミュニケーション能力と法律・政治の素養をみます。面接では志望動機や勉学する意欲を確認します。

【経 済 学 部】

１．教育理念

香川大学経済学部は，経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では，豊かな人間性と高い倫理性の上に，幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探究能力を備え，国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

２．教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし，多様な価値や文化に対する深い理解を背景として，国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から，自ら課題を発見し，それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は，柔軟な視野にたち，コミュニケーション能力を備え，社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち，多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報，国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し，分析する能力を身につけるだけでなく，自ら情報を発信する力を身につけます。

３．教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，主に 1 年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法，他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は，学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は，課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり，各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として，3 年次履修の「演習」及び 4 年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また 2 年次後期からは，各学生は自分の興味・関心・適性，将来の進路等を考慮して，以下の 5 コースのうちからどれか一つを選択し，より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し，複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で，幸福な社会の実現に向けた提言を行うための問題発見・解決能力，コミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員，自治体･企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

（学修する内容と身に付ける力）

会計学総論や株式会社会計などの会計学関連科目，金融論や経営財務論などの金融関連科目を学修します。さらに，会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力と，金融や保険に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

金融機関，企業における経理部門・財務部門，会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

（学修する内容と身に付ける力）

戦略と組織，マーケティング，イノベーション，企業の社会的責任など，経営学に関わる幅広い内容を学修します。また，ビジネスの視点から問題解決にあたり，新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力，課題探求・解決能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

民間企業（製造，卸・小売業），官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務，起業

【観光・地域振興コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学・経営学をベースに，観光学，まちづくり論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに，デジタルマップを用いた調査法やフィールドワークにより，地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員（観光振興，地域振興），公益法人等（ＪＡ，生協，商工会議所），観光業，地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため，経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で，世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決力とコミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

国内外の企業（国際部門など），公益法人（JICA など），NGO，新聞社などのメディア

夜間主コースの学生は，1 年次から卒業まで全員が以下の「総合経済コース」に所属します。

【総合経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済（経営）学分野を，教育内容の基礎として，経済（経営）学の多様な領域を幅広く学修します。さらに，法学関係科目の学修を可能とします。広汎な諸分野を学修することで，実務的必要性に対応する能力を身につけます。

（卒業後の進路等）

在学時に就業している企業・団体における昇任や専門性を生かせる職種への配置換え，専門性を生かした他業種，他企業・団体への転職，専門性を生かした起業，社会人向大学院への進学

４．入学者に求める学力・能力・資質等

①知識・技能

＊経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び，研究活動を実践するための，高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において，解決を必要としている問題を発見・探求し，自分の考えを論理的にまとめて，他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において，必要な情報を収集・分析し，自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり，コミュニケーション能力を備え，多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち，従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において，地域に根ざしながら世界と連携し共生するために，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ，英語，数学，国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は，大学において，国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は，数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は，講義やゼミナールで文献を読んだり，レポートを書いたり，自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め，論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり，読書

習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて，国際的なコミュニケーション能力を養ったり，教養を育んだり，実務的な処理能力を高めたりするために，英語検定，簿記検定，漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

５．選抜方法の趣旨

〇一般選抜

＊前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入学共通テスト 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。特に入学後の学習・研究に必要な基礎的学力を評価するため，国語・数学・外国語のうち最も高い点数の教科を傾斜配点します。さらに記述式の英語の試験を行い，思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。

＊後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入学共通テスト 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。さらに小論文試験を行い，思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。

〇特別選抜

＊大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅰ）

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ，明確な経済学部への志向と勉学意欲を持っている人を対象に，小論文試験及び面接を行い，調査書の特記事項を評価します。小論文では，思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では，思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性，経済・社会に対する関心・意欲・態度や倫理性・社会性を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し，的確な応答をしているか，発言に説得力があり分かり易いか，社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。さらに調査書の特記事項で，主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動，英語検定，簿記検定，漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜ⅡA）

高等学校の普通科又はそれに準ずる学科で，一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ，かつ人物的に優れた人を対象に，大学入学共通テストの国語，数学，外国語の３教科４科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは，基礎的な知識・

技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では，主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動，英語検定，簿記検定，漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜ⅡB）

高等学校の専門教育を主とする学科で，一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ，かつ人物的に優れた人を対象に，大学入学共通テストの国語，数学，外国語の３教科４科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは，基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では，主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動，英語検定，簿記検定，漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

＊社会人選抜（夜間主コース）

夜間主学生として，就業しながら勉学することに対する明確な動機や意欲を持つ人を対象に，小論文試験と面接で評価します。小論文では，思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では，思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性，経済・社会に対する関心・意欲・態度や倫理性・社会性を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し，的確な応答をしているか，発言に説得力があり分かり易いか，社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

＊私費外国人留学生選抜

定められた教育を外国で受けて，経済学部の授業を理解できるだけの日本語能力を身につけた外国人を対象に，面接及び提出された書類と日本留学試験の成績で評価します。面接及び提出された書類では，経済学，経営学などを勉強するために必要な日本語のコミュニケーション能力を持ち，かつ日本で勉強することに明確な動機や高い意欲を持っているかを評価します。日本留学試験では「日本語」について 250 点以上の成績を必要とします。

【医学部（医学科）】

１．教育理念

香川大学医学部医学科は，①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者，②自ら課題を探求し，それを解決できる高度な専門知識と技術，科学的思考力，判断力を備える医師・医学研究者，③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し，地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者，④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力

② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能

③ 自ら問題点を見出し，解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣

④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感

⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観，地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において，医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学専門領域の知識と技能を養成するとともに，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため，年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては，全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い，卒業判定に用います。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる，高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価，それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力，及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え，実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し，多面的な視点から考察し，他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学，医療の専門知識と技能に対する関心，生涯にわたりそれを学び続ける意欲，そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として，また，医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科，数学，英語，国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために必要となる，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．選抜方法の趣旨

○一般選抜

＊前期日程

大学入学共通テストにより，理科，数学，英語，国語，地理歴史・公民の５教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。国語の基礎学力は，考えを論理的に展開したり文章にまとめたり，適切に表現するために必要となります。理科系科目では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを個別学力検査で評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。個別学力検査の数学では，論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。個別学力検査の英語では，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

〇特別選抜

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）

大学入学共通テストにより，理科，数学，英語，国語，地理歴史・公民の５教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。個別学力検査では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，志望理由書，推薦書，調査書をもとに質問し，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価します。発言は説得的でわかりやすく，質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。

＊私費外国人留学生選抜

数学では，論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。英語では，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

【医学部（看護学科）】

１．教育理念

香川大学医学部看護学科は，①生命の尊重を基本として，人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者，②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者，③幅広い視野をもち，地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

２．教育目標

① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し，思考力，判断力，行動力を高めることができる能力を養う。

② 看護の問題を総合的に判断し，解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。

③ 生涯を通じて自己啓発し，看護を批判的に分析し，建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。

④ 看護活動を通して教育，研究，管理を担い，及び国際貢献ができる能力を養う。

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため，全学共通科目を学びます。学部開設科目では，看護学における専門知識と技能を修得し，総合的な実践力,専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢，地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。

さらに養護教諭課程を編成・実施し，所定の単位を修得することにより，養護教諭免許を申請できます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊看護の対象を包括的に捉え，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と，自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できる力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

〇一般選抜

＊前期日程

知識の総合力を重視することから，大学入学共通テスト５教科の得点を評価します。特に，看護学を学ぶために必要な論理的思考力，基礎的学力を評価します。さらに，面接で思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

〇特別選抜

＊総合型選抜Ⅰ

第１次選抜では，出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性を評価します。第２次選抜では，第１次選抜の合格者に対して小論文試験及び面接を行います。小論文は英語と日本語で出題され，知識・読解力，論理的思考力・表現力，文章構成力を評価します。面接は思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。これらを総合的に判断し，最終合格者を決定します。

【医学部（臨床心理学科）】

１．教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は，①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者，②自ら課題を探求し，それを解決できる基本的な専門知識と技能，科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者，③多職種連携・協力ができる資質を持ち，心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに，心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 人間性を尊重した対人支援の態度，共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度

② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能，それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識

③ 心理臨床の学習・実践において，自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探求能力

④ 心理援助者としての倫理観，使命感，責任感，省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢

⑤ 地域社会における医療・保健，教育，福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解

⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた，社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが，「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」及び「卒業研究」を受講するには，医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では，心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで，身体と精神が相互に関連していることを理解し，心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では，心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに，少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって，人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力，クライエントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

本学科は，「医学の素養を有した心理援助職」の養成を目指して医学部に設置されました。医師・看護師等の医療職の受験資格の取得を目的とした学科ではありませんが，心理学と医学を融合させ，さらに，保健医療分野を中心としながら，福祉，教育，司法・犯罪，産業・労働の各分野での実習・演習科目を含めたカリキュラムを展開し，保健医療に留まらず幅広い分野で，心理学的理解と支援に役立つ教育を行います。

卒業後に取得可能な資格は，認定心理士，児童指導員（任用資格），心理判定員（任用資格）です。職種としては，少年鑑別所法務技官（心理技官），家庭裁判所調査官，児童相談所児童心理司，児童養護施設の児童指導員などが想定されます。加えて，本学科卒業後に心理系の大学院修士課程に進学し，課程を修了すれば公認心理師（国家資格），臨床心理士（日本臨床心理士資格認定協会）の受験資格が得られます。本学科のカリキュラムには公認心理師の受験資格を取得するために必要な科目等を含みます。

これらを踏まえて，大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

＊他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊心理的援助に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち，他者との関わりを通して，自己理解を深め，自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

＊大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ，心理援助者として，地域に貢献し，社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

＊人間の健康，適応，成長に関わる心理援助者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語，英語，数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命や自然現象を科学的，論理的に理解するための幅広い知識の

修得が，社会系科目では，人の生活の背景となる文化，歴史，社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するための，英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための，数学では，数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．選抜方法の趣旨

○一般選抜

＊前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入学共通テストにより評価します。

また，個別学力検査では，国語又は数学，英語，面接を課します。国語又は数学について，国語は考えを論理的に展開したり，文章にまとめたり，適切に表現できる能力を，数学は推理能力や論理的な能力を評価するため，文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において，国際的なコミュニケーション能力を評価するために実施します。面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協調性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

【創 造 工 学 部】

１．教育理念

我が国のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から，「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており，人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに，「もの」や「こと」が創造的で新しいものであればそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し，また,「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから,「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は，これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため，以下のような教育理念を定めています。

香川大学創造工学部では，人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て，人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し，専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち，国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

２．教育目標

創造工学部では，以下の素養を育成することを目標としています。

1）専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
2）高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
3）地域を理解し，地域と協働して価値の創造を行う力
4）審美力，多様性理解力，企画力,プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
5）様々なリスクを把握･抽出し事前に対応策を講ずるとともに，想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

３．教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は，全学生を対象に開設する科目で，人間的教養を高めるための教養教育科目です。１年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとＩＴ社会において必要な能力を身につける情報リテラシー，現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は，各学部生を対象に開設する科目で，工学の専門家としての素養を身につけるための科目です。「学部開設科目」は，エンジニアとしての倫理観，コミュニケーション能力，デザイン思考能力，リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と，それぞれの分野の専門を深めるための専門科目に大別されます。

創造工学部は,「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため７つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため，それぞれの特性を持った「専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は，美術・建築・工芸等の分野で，瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を，今日的視点で多角的に研究・継承し，芸術的視点で統合しながら，工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって，優れたコミュニケーション能力，表現力を育成し，工業製品のデザイン，情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで，地域の限られた人的及び物的資源を活用し，安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し，建築，土木，環境等の関連分野を俯瞰し，これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて，地域固有の自然環境や歴史文化，社会基盤，種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び，資格を取得できます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく，国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また，現在のようなグローバル化した世界では，ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは，地域の強みと弱みをよく知り，経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び，何が脅威になるかという予見能力を持ち，ハードウェア，ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて，危機を未然に防止し，防止できないときには危機が災害に，災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報システム・セキュリティコース】

ネットワークの急速な発展により世界中の情報システムは相互に接続されグローバル化しており，ユーザーフレンドリーでかつサイバー攻撃への耐性など高いセキュリティを持つ情報システムが求められています。本コースでは，このような要求に応えるために，グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術，高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術，利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ，地域，日本，世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報システム設計ができる人材を育成します。

【情報通信コース】

インターネットとモノとが混然一体となったシステムが構築される IoT（Internet of Things）が注目されています。本コースでは，IoTの基盤技術である電子回路・通信・セキュリティ技術を身につけ，電子機器・情報通信機器の開発ができる人材を育成します。さらに，地域において必要とされる電力または通信関連の技術開発・システム運用を担うことができ，そこからグローバルに活躍できる人材を育成します。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し，「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。 機械工学の基礎として解析力，力学，制御技術，設計・製図を身に付け，その上で，高度な機械システムを形成するために必要な電気電子，情報分野の知識についても学びます。そのため，自動車，電機，情報，鉄鋼，医療機器など機械システムが関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【先端マテリアル科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは，マテリアル科学の基礎であり，安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料開発に不可欠です。本コースでは「環境材料化学」・「機械材料科学」・「光・電子材料科学」の三分野にわたる幅広い教育研究を実践します。さらに，多面的・全体的な視野を養うデザイン思考教育とマテリアルにかかわるリスクマネジメント能力を養う教育を採り入れて，地域や社会のニーズに応えながら未来の社会を構築する人材を育成します。製造業，化学，金属，素材メーカー，電気・電子部品等，様々な分野で活躍が期待されます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている人を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語，外国語，数学，理科などを中心に，幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え，それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し，自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち，身につけた知識・技術を分かりやすく表現し，共生環境創造，地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において，国語，外国語，数学，理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し，技術専門職として，他者の意見や価値観を尊重し，他

者を思いやることができるコミュニケーション能力も必要ですので，生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

○一般選抜

＊前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため，試験科目の組み合わせとして，高等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Ａタイプ），必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Ｂタイプ）の２種類を用意しています。造形・メディアデザインコース及び防災・危機管理コースを希望する人については，Ｂタイプも選択できます。前期日程では，従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す学生を求めるために大学入学共通テストでは５教科７科目（Ｂタイプ志願者は，理科の選択科目によっては５教科６科目）を課しています。個別学力検査では，基礎的な理数系科目（数学，物理，化学）から１科目を課しており，Ｂタイプの造形・メディアデザインコース志願者は総合問題を，防災・危機管理コース志願者は地学も選択できます。

＊後期日程

後期日程では，科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力，将来国際社会で活躍するための基礎的能力などを総合的に問います。そこで，大学入学共通テストでは，５教科７科目を課しています。また，個別学力検査では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な資質，能力などを問うことを目的とした小論文を課しています。

○特別選抜

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）

学校推薦型選抜Ⅱでは，創造工学を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学，理科，外国語の３教科４科目により評価します。また，調査書の審査では，勉学状況に加えて生徒会活動やクラブ活動などへの取り組み，特技や取得資格などを重視し，創造的な探究心，主体性，社会性，積極性などの観点から総合的に評価します。

＊総合型選抜Ⅰ

第１次選抜では，出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性を評価します。第２次選抜では，第１次選抜の合格者に対して，口頭試問，プレゼンテーション，小論文のいずれかと面接を課します。口頭試問は，基礎学力や将来性を評価します。プレゼンテーションは，各コースの課題に対する発想力，創造力，論理的思考力，表現力等を評価します。小論文は，論理的思考力・表現力等に加えて，物理・数学に関する素養を評価します。面接は，向上心，論理性，積極性等を評価します。これらを総合的に判断し，最終の合格者を決定します。

＊私費外国人留学生選抜

日本国の教育機関で教育を受ける目的を持って入国した外国人を対象としています。数学と理科について試問を行う面接を課しており，日本での大学教育の理解能力を評価します。

【農 学 部】

１．教育理念

香川大学農学部は，先端的かつ総合的な生物科学を基礎に，自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行い，豊かな人間性と国際的な視野，課題探求能力を備え，生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し，生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

２．教育目標

香川大学農学部では，生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ，科学的な思考に基づく課題設定力，国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え，多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

３．教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり，「主題科目」「大学入門ゼミ」「情報リテラシー」「学問基礎科目」「健康・スポーツ実技」「高度教養教育科目・広範教養教育科目」「外国語科目」の７つの区分があります。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」，高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」，さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」を設けています。

農学部は応用生物科学科の１学科制を採用しています。入学後，まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し，生物科学の基礎を身につけます。この間に，自らの学習の方向性と適性を把握し，２年後期からは以下の５つのコースに分かれ専門科目を履修し，学修を体系的に完成させます。

１）応用生命科学コース

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により，生命現象や生物が作る物質の特性や機能を分子レベルで解明して利用することが可能になってきました。応用生命科学コースでは，微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子・遺伝子レベルで明らかにする生命科学の基礎から，その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

２）生物生産科学コース

21 世紀の豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と，生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして，遺伝子資源の評価と品種改良，生産技術・環境や生産物の流通・利用システムなどを，フィールドからバイオまで体系的かつ実践的に学びます。基礎から応用までの理論を体系的に学習し，連携した実験やフィールド（農場）実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

３）環境科学コース

生物と環境との相互作用，環境中の物質循環について学ぶことができます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として，化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し，フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに，環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

４）生物資源機能化学コース

生体の様々な機能を物質レベルで理解し，多様な生物資源の効率的な利用法の開発に必要とされる基礎的知識の修得を目標とします。特に，有用な機能を持つ生物由来の化学物質の探索法，それらの生成・作用メカニズムや分子構造を解明するための化学的手法，さらに再生産可能資源としてのバイオマスの高度利用法について重点的に学びます。

５）食品科学コース

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を化学的に理解し，（１）食品の機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む。）を組み合わせ，基礎から応用，そして実践的内容のカリキュラムで，安全で，機能性が高く，様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行っています。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な知識・技能及び基礎知識

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決へ向けた柔軟な思考力，論理的思考・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する多様で広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し，他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち，関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し，応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用を進めながら，自然と調和した安全で快適な社会の実現をめざす高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において，理科，数学，国語，英語を中心とした基礎学力を身につけておいて

ください。先端的かつ総合的な応用生物科学を理解し，生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。農学部では，生物資源の生産と利用に関する情報を理解し，自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

５．選抜方法の趣旨

○一般選抜

＊前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度をみるために大学入学共通テスト５教科７科目の得点を評価します。個別学力検査では，農学部における勉学の素地として自然科学を重視し，数学と理科から１教科１科目選択とします。

○特別選抜

＊大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）

学校推薦型選抜Ⅱでは，生物科学を基礎とする内外の産業界で幅広く活躍できる有為な人材の育成を目指して，生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学，理科，外国語の３教科５科目により評価します。また，提出書類等から志望動機や勉学状況に加え，主体性・多様性・協働性ならびに関心・意欲などを総合的に評価します。具体的には，学内外での活動（文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学経験，ボランティア活動など），課題研究，資格・検定等（英語検定など）において顕著な実績を上げているものを評価します。

＊総合型選抜Ⅰ

第１次選抜では，出願書類の内容を総合して主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。

第２次選抜では，第１次選抜の合格者に対して授業理解力テスト（講義を受けての記述式テスト）及び面接を行います。授業理解力テストは知識・技能，思考力・判断力・表現力を評価します。面接は知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。これらの評価を総合的に判断し，最終の合格者を決定します。

＊私費外国人留学生選抜

外国で所定の教育を修め本学で教育をうけることを希望し，農学部の講義の内容を理解できる日本語能力を身につけている外国人を対象に，面接，日本語留学試験及び TOEFL 等の成績で評価します。面接では，農学部において生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な日本語コミュニケーション能力，動機や意欲等を評価します。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

◆入学試験等に関する照会先◆

香川大学入試グループ　TEL(087)832-1182

〒760-8521 高松市幸町 1 番 1 号

○香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp

○インターネット出願サイト

https://portal.postanet.jp/shikoku/entry

○四国国立 5 大学 進学支援サイト（今ログ）

https://portal.postanet.jp/shikoku/